

○林委員長 日程1の陳情審査にまず戻りまして、二番町地区のまちづくり関連についてです。

本件に関する陳情は、継続中の送付5-18、5-19、5-21から26、5-31、5-41、5-45から49、5-52から56、参考送付、6-8、6-18、6-26、6-38、6-39の合計26件です。

関連するため、一括して審査してもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林委員長 はい。執行機関から何か進捗等がありましたら、情報提供をお願いいたします。

○榊原穂町地域まちづくり担当課長 10月15日の当委員会で報告をさせていただきました前向きに話し合える場の概要に関して、口頭にて、その後の状況をお知らせいたします。

まず、名称については、番町次世代シンポジウムといたしました。また、構成人数は30名とさせていただいております。開催時期については、当初年内とご説明をいたしましたが、1月12日へと変更をいたしております。場所は区役所となります。実施方法等は、選定をした事業者と今後詳細を詰めてまいります。コンセプト等、前回、ご説明した方向性について、変更はございません。

本日発行の広報で、番町次世代シンポジウムの参加者及びアイデアの募集について、周知を行っております。今月19日までの2週間、応募を受け付けてまいります。順次、ホームページやSNS、町会掲示板等で周知を行うほか、新たに千代田区ポータルサイトも活用して、幅広く応募を呼びかけてまいりたいと考えております。

ただいまお知らせした内容については、10月25日の都市計画審議会においても情報提供をさせていただきました。

前回、委員会で報告した内容から変更が生じており、また、事前にご案内ができず、申し訳ございませんでした。

説明については以上です。

○林委員長 委員の方。

○はやお委員 都市計画審議会のときも、私のほうからも話しましたとおり、正副が知らなかったと。都市計画審議会は、確かに、これは独立性のものだからというのはあるんですけども、当然のこと、最低でも正副のほうの確認があってしかるべきが一つ。

それで、あと、私も企画のほうで委員長をやっていたから、当然のことがあって、それで、確認の上で、委員会が開けなくても、ポスト対応させていただくとかというのは、普通、丁寧なやり方としてはそれなんです。都市計画審議会できなりやって、それで、知らなかったということ自体もちょっと議会内部としては非常にまずい話なんですけれども、そんな話が出てしまったと。このことについては、ちょっと僕はその他でやるのかなと思っていたんですけど、今日、今、報告があったから、そここのところについて、ちょっと、今後、どういうふうにしていくのか。いや、また不信感があって、いや、僕が委員長だったら爆怒りですよ、はっきり言って。12月にやると言っているから早くやってくれと言っていて、それでやり取りもやっておいて、そしたら、1月になりましたというのについて、丁寧に欠けるのかなと思うんですけど、その辺のことをお答えいただき

たい。

○榊原翹町地域まちづくり担当課長 まず、本来、10月15日、ご説明させていただいた際に、より熟度の高い内容でご報告できれば何よりだったというふうに思っております。また、その点については、おわびしたいということと、あとは、仮に変更があった際の対応については、ただいまご指摘いただいた点を踏まえて、より丁寧な形で委員会についての報告については、正副の委員長に事前にご相談する等、丁寧に対応してまいりたいと考えております。

○林委員長 そんな振られると。ほかの担当のところでは、例えば、東郷公園のイベントなんていうのは、ポストイングしていいですかとか言われて、これ、もう依命通達で書かれるのは嫌だなと思いつつも、どうぞとやっているんですけど、結果的に、僕も初めて知ったのは掲示板でしたよ、区の。12日、あ、そうなんだ、12日に決まったんだと思いつつもやっていたんですけど、まあ、しょうがないですね、依命通達が出ているんで、それはどういうふうに執行機関側と調整するかというのは。ただ、十二分な説明を、何で1月12日としたのかなというのが、すごく、僕も都市計画審議会で言ったんですけど、それ、中学受験のもう一番ピークのときなんで、受験生の保護者とか、子どもたちの意見を抹殺しているに等しい時期に入れるというのは違和感あるなと思いつつも、誰を対象に1月12日にしたのかぐらいは、説明してしかるべきなんじゃないでしょうかね。全ての人にとってもあるんでしょ。まちのほうは新年会等々で忙しいわけですし、思い描いたのは、何の都合で1月になったのかというのは、12月でできるだけ早いほうがいいよねと委員会でやったのをぼんと年明けにするというのは、それ相当の説明ぐらいはあってもいいのかなとあるんで、あんまり長くやられると困るんですけども。

○榊原翹町地域まちづくり担当課長 ただいまご指摘いただいたとおり、なるべく早期に開催をしたいという思いがあって、当初、ご報告をさせていただいたところですけども、前回、委員会が終わった後に、事業者の選定に直ちに取り組みました。その後、事業者を選定した後に、開催の方法について、今後も詳細を詰める部分はあるんですけども、まずは、当面、決めるべき内容について協議をした際、申込者が非常に多くなるという可能性もある場合に備えて、多かった場合に選定を協力を求める学識経験者等もまだ決まっていないうことも踏まえると、なるべくスケジュールに余裕を持たせた形のほうが望ましいんじゃないかといったようなお話を頂いています。また、応募動機を踏まえて、当日、どういった構成で進めるかといったようなことについての検討であったり、今回、アイデアも募集いたしますが、その整理についても、仮に件数が多かった場合については、一定程度期間を設けたほうがよいだろうというような検討の結果、当初の12月、年内というような開催ではなく、とはいえ、なるべく早期の開催という観点から、1月12日という設定をさせていただいております。

○はやお委員 我々も、まだあそこで十分にもっと議論したかったわけですよ。だけど、何かといたらば、基本計画を立てる前に、そういういろいろな例の附帯決議のステップ論があったように、やらなくちゃいけないといったところで進んでいたわけだ。で、今の話だと、それが、我々の委員会でやったことと都市計画審議会で行われるこの間の中の、今の説明じゃ緊急要件じゃないんだよ。だって、委員会で説明するとき、そんなの十分分かっているでしょう。特別な要件がこういうふうにこの期間の中に入ったために、こうだ

と説明しないと。だって、そのことについては、委員会で説明するときだって十分分かるじゃない。一生懸命、課長がやっているの分かるんだよ。だけど、何か延ばすのか、急いでいますと言っているのか、その辺のところ分からないで、我々も、何か誠意を持って一生懸命議論していても、じゃあ、これも引き上げようよと、早くやろうよと言うから、やっているにもかかわらず、要は、ペろっと舌を出して、都市計画審議会、何にも聞いていないで、まだ正副が確認を取っていただらいよ。というところは、何度も言うわけじゃないけど、その辺のところ。

○榊原勲町地域まちづくり担当課長 繰り返になってしまうんですけども、なるべく早期に開催をしたいというような考えから、前回の委員会でご報告をさせていただいたところです。ただ、やはりタイトなスケジュールであったということは否めないかなというふうに思っております。（発言する者あり）そういった意味で、より安全面を考慮した形での日程を組むに当たって、1月12日という決定をさせていただきました。

○桜井委員 昨日出ていた、陳情も。

○はやお委員 陳情も出たよね。

○桜井委員 陳情も出ていた。

○林委員長 陳情。えっ、陳情。これに関しては、出ていない。

○桜井委員 話合いの場をつくってください。

○はやお委員 それは、もう、それで附帯決議も出ていた。

○林委員長 はい。はやお委員。

○はやお委員 結局、そんなしつこくやるつもりはないんだけど、この辺のところ、事情を説明してもらいたいんですよ、どういうふうになった。例えばですよ、（発言する者あり）外神田のほうも、事業計画の854億というのが、これ、なかなか難しくなりそうなんですよ。そしたら、例えば、事業計画が、日テレも同等だと思うんですよ。建築資材、そして、また、四番町も上がったようにね。そしたら、そういうことで、ゆったり少し検討する時間があるんだよとか、例えば、そういう事案があったのか、急ごうとやってやっているのか。この辺のところについては、もう少し開かれた形で、誠意を持ってやっていかないと、できないんじゃないのというところなんだよ。

一説によると、建築資材が上がって、もう、あれを見ると、1.3倍から、今度は2倍近くにもなんなんとするという数字を、統計、市場雑誌なんかにも書いてあるところからしたときに、どういうことなのか、今の状況が。で、ここは、何度も言うけど、日テレだけの問題じゃありませんよ。都市計画決定したのは区なんですから、その責任を持って、その辺のところを我々に説明する必要があるんじゃないんですか、附帯決議もついたので、こういうことです。

○加島まちづくり担当部長 今回の件、大変申し訳なく思っております。

事業については、日テレさんの単独事業ということで、建築資材高騰の中で、いろいろ検討は今後していくといったことはもちろん聞いていますし、しっかりと都市計画の決定に沿った内容の中で整備してほしいなというふうに思っております。

本当に大変申し訳なかったんですけど、12月に確実にやるつもりで我々もいました。先ほど課長が答弁した内容のとおり、プラス、我々区がやるというよりも、今回、第三者の方を入れて、しっかりとちゃんとやっているかどうかというところの見極めが重要だな

といったような中で、そこら辺のちょっと日程が残念ながら当初予定していたんですけど、そこがうまくいかなかったといったところがございまして、そういったもろもろのところでは日程を変えざるを得なかったといったようなところでございます。

しかしながら、都市計画審議会の前に、正副委員長にご説明しなかった点……

○林委員長 依命通達がある。

○加島まちづくり担当部長 また、日程が決まった段階で、本日の広報の前にご説明しなかった点、大変申し訳なく思っております。特に日本テレビの開発に関しては、慎重にやらざるを得ない、やらなければならないところを、こういう形になったところ、責任者として大変申し訳なく思っております。今後は、さらに気を引き締めて対応させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○林委員長 もうあれで、ちょっとさしちゃって、時間もあれなので。

一つが、別に正副に言われても、また依命通達で書かれちゃうんで、こういう関係が求められたんだろうなって、執行機関のほうも思うんで、ぎすぎすするのは仕方がない、平場ですけど。議会のほうには、12月に開催するから、11月5日の広報に周知しなくちゃいけないというんで、じゃあ、もっと丁寧にやったほうがいいんじゃないかとか、複数回やったほうがいいんじゃないかと議論はあったけれども、取りあえずやらせてくださいよという形でやったのが、全部、そのやり取りが無駄になってしまったというのは、重く受け止めていただかなくては困るわけです。

と併せて、この次世代何とかという話合いの場だよな、前向きの、これ、1回やることによって、アリの的にやって、意見が余計すぎすぎるようなものだけは、正直言って、もう勘弁してもらいたいですよ、地域で子育てする身としても。もうこれ以上、住民同士、嫌な思いをさせたくないんで、進める側、それとも、慎重な側も。もう少し、時系列のって、かなり機微に触れる話ですし、時期の話も、番町の人たちは特に1月になったらお忙しい方が多いですから、本当にターゲットを掛けて、どこまでの幅広に行くのかって、これはお願いする学識経験者の日程がそこしか空いていないというのかもしれないですけど、それはそうなっちゃいますよ。だって、1月になったら、受験シーズンで、学者とかは暇になりますから。ただ、受験する人は忙しいし、その人たちの声を聞かないで、文教地区の番町のまちづくりを前向きにやっていくというのは、少し違和感があるんで、今後は、お尻を切るんだったら、余力が年越しになるんだったら、その状況説明も委員会にさせていただいた上で、11月5日の広報を打つか、打たないかの判断のものをやっていたかかないと、ちょっとむなし過ぎるし、言葉もいろいろ気をつけなくちゃいけないんですかね、見下すというと、見下されるって、いけないでしょうね、何という表現なんだろう、もう少し大切に扱うというよりも、慎重の上にも慎重にやっていただかないと、正直言って、今後、ばらばら感が出たときに、行政のほうで勝手に判断したんだから、勝手にやればいけないじゃないかという昔の人たちの、先輩たちが言ったような表現法にならないようにしてもらえればなとは思っていますね。

そんなところで、まだありますか、ごめんなさい。どうぞ。

○はやお委員 いや、本当はその他でやろうと思っていたのが、もう、今日報告はないと思っていたんです。でも、私のほうで言うのは、もう選挙で動くもんですから、麴町を歩いていたわけですよ。そしたら、麴町こども広場というのが第5025とかというのが、

令和6年11月5日 環境まちづくり委員会（未定稿）

工事のお知らせって、これも書いてあったんですよ。これ、報告したっけ。ポスティングしたっけと思って、そのところ、何かといったら、続いているようなイメージがあるんで、僕がちょっと認識がないんだったら、ないって。

で、今のところ、関連するから、このところ、僕ら、今まで議会軽視とか、そういう言葉を言っていたけれども、この502というようなことについては、麴町のこども広場、これの報告があったのかどうかだけ、ちょっとこのところだけ確認したいと思うんだよ。（発言する者あり）

○林委員長 日テレの都市計画道路に関わる出入口、出口の麴町の話……

○千賀道路公園課長 そちら、（発言する者多数あり）すみません。

○林委員長 どうぞ。

○千賀道路公園課長 麴町こどもの広場の工事でございますけども、昨年度から継続しているところを、地域の要望等で、一旦中止を……

○はやお委員 それは聞いているよね。

○千賀道路公園課長 ええ。そちらは、地域の確認などを経て再開させていただくということで、地域等にはご説明をしておるところでございます。すみません。ちょっと、そういった形で、区の事業執行の中で……

○林委員長 11月1日。

○千賀道路公園課長 再開をさせていただいたということで、特段、ちょっとご報告というところは失念しておりました。申し訳ございませんでした。

○はやお委員 ポスティングとかはしていたんですか。

○林委員長 11月1日からだよ。フェンスで囲っちゃったんですもんね。あれって、近隣って、どこまでの方に、桜井さんが詳しいんでしょうけど、あそこ、昔から、二番町とか麴町の方が冬に餅つきやったり、園児たちの遊び場になっているんだけど、近隣って、どこまで声をかけて、全面クローズにしたのかもお答えください。

○千賀道路公園課長 あそこの広場で、毎年、新年というか、1月ないしは2月にイベントをするような、日頃からお使いになっている麴町四丁目、五丁目、六丁目及び二番町の方にはご説明をしているところでございます。11月1日から作業を開始したというところでございます。

○林委員長 園児等々は。要は、簡単に言うと、東郷公園も半分クローズになっていて、遊び場って極めて少ないところに、輪をかけて、クローズをかけるというのは、近隣の保育所の方たちにも多大な影響があるんで。

○はやお委員 そうだよな。

○林委員長 周知されたんですかね。

○千賀道路公園課長 ちょっと確実なところはやっていない部分がございますけども、直近の保育園、保育所等にはちょっとご案内はしているというようなところは、現場のほうから報告をしております。

○はやお委員 している。

○林委員長 しているんだ。しているんですよ。（発言する者あり）えっ。ごめん。ちゃんと、せっかく、依命通達前だったら、ちょこちょこ言えたんだけど、もう言えなくなっちゃっているんで、事前のやり取りでね。ちゃんと正確にこういうネットの場でやって

令和6年11月5日 環境まちづくり委員会（未定稿）

ください、言ってください。子ども部には情報提供して、近隣の遊び場として使っている保育所には間違いなく連絡、確認をしているという事実かどうかということを宣言してください。

○千賀道路公園課長 申し訳ございません。そこまでの確認はしておりません。ちょっと事務レベルで確認をしたという程度でございますので、そこまでの確実な周知というのではありません。

○はやお委員 はい。じゃあ、最後、最後。

だから、そういうことについては、議会が区民代表でもあるということの中から、またそういう――僕は地域事情のところはよく分からないですよ。でも、またやっているなというふうに思っちゃったから、そしたら、やっぱり四番町のほうも、ああやって、東郷公園のほうもすぐに使えない状況のああいう地域事情があるから、その辺のところについては、やっぱり丁寧にやるのが普通なんじゃないの。前に言って、去年言ったからということではなくて、今の事情を一番分かっている、また議員の先生方もいらっしゃるんだから、そういうところを確認するところが委員会の場なんじゃないかということだけど、その辺のところ、ちょっとお答えしていただきたいと思います。

○加島まちづくり担当部長 今、委員長から、また、はやお委員からご指摘、重く受け止めております。大変申し訳ございませんでした。

改めて、先ほども同じことを答弁させていただきましたけれども、我々丁寧にそういった手続・手順を踏まえて、ご説明もですけれども、しっかりやっていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○林委員長 陳情審査なんで、ちょっとずれ過ぎているのもあるんですけども、（発言する者あり）ほか、二番町のよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林委員長 はい。それでは、二番町地区まちづくり関連についての26件の陳情についての取扱いですが、（「継続」と呼ぶ者あり）継続の取扱いをさせていただいてよろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林委員長 はい。ありがとうございます。それでは、陳情審査の二番町についてを終了し、次に、外神田一丁目南部地区のまちづくり関連についてです。